

エアフロー（ジェット）

【準備物】

- ・ 基本セット
- ・ 排唾管
- ・ 唇を保護するためのワセリン（ロールワッテにつけておくと唇に塗りやすい）
- ・ 顔にかけるタオル



【術前の注意点】

- ・呼吸器系の疾患がある人はムセやすかったりするため、最初に呼吸器系の疾患がないか確認する。
- ・ジェットの効果について説明する。
- ・プラスパウダーは主成分がエリトリトール（代用甘味料）で、歯垢を分解しやすくする、口内細菌の活動を弱める、歯垢形成を抑制する、歯垢の結合を緩める効果がある。
- ・歯肉の引き締め効果があるため、出血が減る。
- ・継続することで着色が付きにくくなる。
- ・歯の表面を傷つけず、歯面をツルツルに。
- ・患者さんの顔にタオルをかける。



- ・唇を保護するため、ワセリンを唇の内側に塗る。
- ・舌にガーゼを置くかどうか患者さんに希望を確認。
- ・口腔内で使用する前に、バキュームとジェットを持ち、バキュームに向かってジェットを噴射させ、水が出るまでフットペダルを踏む。



- ・水が出たのを確認してから口腔内で使用する。

【施術】

- ・ 歯面にあてるときは、くるくる円を描くように動かしながらあてる。
- ・ ノズルは切端方向に向け、気腫の発生を防ぐため歯肉溝には向けない。
- ・ 歯肉からは3～5mm離して、歯面に対して30～60°の角度をつける
- ・ ジェットの先端を歯面に近づけるほど着色は取れやすいが、痛みを感じさせやすくなってしまうため注意。
- ・ ジェットと対角にバキュームを置く。
- ・ 最後臼歯の遠心はミラーを使うと良い。



- ・ 少しかけてみてから、痛みがないか確認する。
- ・ ジェットをかけ終わったらうがいしてもらう。
- ・ 食事はジェットをかけた直後から可能。